令和６年度の事業報告書

令和６年４月１日から令和７年３月３１日

特定非営利活動法人　静岡団塊創業塾

“くれば”での「リアルな居場所」活動と、ビデオ会議システム“ＺＯＯＭ”を使った「オンライン居場所」を定期開催し、『ハイブリッド型居場所』を継続した。

令和６年度の特記事項は、静岡県よりしずおか健康長寿財団が受託した「孤立孤独対策事業」の一環として「通いの場支援事業」に関われたことである。県内４か所で講演、２か所でワークシップとセミナーを実施したほか、健康づくり講座では県内４か所で会員８名が事例報告を行った。

静岡県社協より助成を受け、団創が主催して初めて「ライフシフトセミナー」を５回実施した。会員５名が各回の講師を担当した。

屋外活動「くればウォーキング」も継続開催した。「地域デビュー支援事業」は、伊豆地区等にて足跡を残すことができた。「ＤＸ支援事業」は自治会のＬＩＮＥ導入のお手伝いができた。

１．特記事項

（１）しずおか健康長寿財団事業「通いの場支援事業」

好きな事・得意な事でアクティブライフ

浜松、静岡、沼津、下田の４会場において「好きな事・得意な事でアクティブライフ」講演を行った。森町と裾野市の２会場において「通いの場ではじめる地域づくり講座」を行った。

健康づくり講座

浜松、焼津、三島、下田の４会場において実施された講座において各２名ずつ、計８名の会員が「シニア世代の地域活動事例」を発表した。事前に会員有志で構成するプロジェクトチームを立ち上げ、磨き合った。

（２）「ライフシフトセミナー」事業

静岡市内５か所の会場において、「セカンドライフのマネープラン」「やりたいことの見つけ方」「仕事をなくすということ」等のテーマで実施した。集客に苦労したが、各回１０名程度の参加を得て実績を積めた。

（３）ＤＸ支援事業

静岡市地域総務課より依頼され、西奈南、大河内、藁科の三会場で自治会役員向けにＩＴリテラシー向上セミナー（ＬＩＮＥの使い方）を行った。

２．シニアライフ支援センター「くれば」運営

（１）ミニセミナー・サロン事業

リアル居場所プログラムとしては火曜日に「ＩＴ村」と「パソコン・スマホ個人相談」、水曜日には「でん伝体操（ハイブリッド)」と「健康麻雀」、木曜日には「テクノロジーカフェ」を隔月開催、

「読書感想会」を継続し、徐々に参加者が増えてきた。

「オンライン居場所（ＺＯＯＭ寺子屋)」プログラムとしては、毎週金曜日の１９時半から「語り上手聞き上手」「ワンポイントＩＴアドバイス」等、定期的に開催した。それぞれの進行役は杉山吉、北楯さんが担当。「川柳会」は一時中断中。

（２）歌声喫茶

「新さんの歌声喫茶」は「くれば」で継続開催、令和６年度は合計１０回行った。

（３）でん伝体操活動

毎週水曜日の１０時～１１時に継続開催、８年が経過した。ハイブリッド方式で継続中。

（４）自治会研究班活動

令和５年２月に活動を再会し、二ヶ月に１回集まり情報交換を継続した。全国的に自治会活動は曲がり角にあると言われ、我々なりに勉強会を行っている。

（５）ライフシフトらぼ

有志の参加を得て毎月第三日曜日の１４時からＺＯＯＭで意見交換を続け、今年初めて外部に向けて「ライフシフトセミナー」を開催した。この経験を元に今後、定年前の方にどんなメッセージを発信していくべきか検討中。

（６）ものづくり教室

ものづくりグループの活動として適宜開催。小学校児童クラブ等で実績を残した。

３．地域デビュー支援事業

令和６年度の本事業の実施結果を下表に示す。すべて講師は原田が担当。

（１）セミナー形式で実施分

場所	日程	イベント名	備考
南伊豆町	12 月 14 日	壮年熟期が活躍するいきいき長寿社会事業	シニアの生きがい創出がテーマ 参加者約 20 名。
森町	12 月 20 日	インターネットボランティア養成講座	オンライン居場所開設への準備 参加者約 30 名。

（２）講演形式で実施分

場所	日程	イベント名	備考
伊豆市	9 月 13 日	第2回伊豆市民支え合い活動フォーラム	地域包括ケアシステムの啓発 参加者約 60 名。
島田市	11 月 22 日	健康度・幸福度アップセミナー	ボランティア参加者養成 参加者約 50 名。

吉田町	3 月 12 日	吉田町シニアカレッジ	シニア向け教養講座 参加者約 20 名

４．情報発信活動

（１）メールマガジン発信

毎月２５日に継続発行し、現在１２１号となった。「くれば」イベントの実績や、各種行事等の告知をしている。我々の活動に関心のある方々や退会者への情報伝達手段となっている。

（２）ブログ発信

継続しているオンライン居場所活動を中心に１０件／月程度アップしている。ホームページにリンクするので一般の方の目に触れる可能性も高い。

（３）「くれば」予定表の配架

リアル（くれば）とオンライン（ZOOM）居場所を併記した予定表のフォーマットで配架中。

（４）ポータルサイトでの発信

静岡市運営「ここからネット」、しずおか健康長寿財団運営「サポーター情報」、等でも発信中。

５．会員数の推移

一年間で６名の方が入会されたが１６名の方が退会され７５名となった。

（個人７３，法人２，令和７年５月１０日現在）今後会員の高齢化に伴い減少傾向が続くと思われる。

静岡団塊創業塾が従来から取り組んでいる４仕掛け（会って、繋がって、磨いて、輝く）については、下記のような実績を残した。

（１）人生１００年サミット

令和７年１月に第７回を実施した。テーマは「好きなこと得意なことでアクティブライフ～プロボノってなぁに？～」とし、基調講演講師は認定ＮＰＯ法人サービスグラント代表理事の嵯峨生馬氏にお願いし、ハイブリッド方式で実施した。会場約４０名、オンライン約１０名、計約５０名が参加し、盛況のうちに終了した。

（２）定期交流会

くれば閉館で中断したままのため、リアルな交流会は実施せず。その代わり「オンライン居場所」活動や「くれば」でのＩＴ村がその役割を果たしたと考えている。

（３）磨きあい塾

前記「健康づくり講座」を遂行するために、「くれば」にて発表リハーサルを行った。実際に試行することで受講者目線の意見が出され、体験発表を磨けた。

（４）熟年セミナー

３－（１）（２）のような「地域デビュー支援事業」を実施。受託数を増やすことが課題である。

上記事業を行うために、原則として第一土曜日午後に定例理事会を１２回（「くれば」で４回、オンライン（ZOOM）で８回）行った。

参考写真

１．居場所運営事業写真（リアル＋オンライン）

「歌声喫茶」

「オンライン寺子屋：語り上手聞き上手」

２．ＤＸ支援、地域デビュー支援事業写真

静岡市「自治会役員むけ LINE セミナー」

島田市「健康度・幸福度アップセミナー」講演会

３．その他事業の写真

「くれば」ウォーキング

第７回人生１００年サミット「プロボノってなぁに？」